

はい!

# やくも町議会

です

第 75 号

令和4年11月

編集/議会広報広聴常任委員会



北海道から707万1千円で購入した

「熊石サーモン種苗生産施設」を視察

16ページに関連記事あります!

## 主な内容

	ページ
○令和3年度決算審査 .....	②
○補正予算 .....	⑦
○5名の議員が町政を問う(一般質問) .....	⑧
○議会報告会 .....	⑬
○議決・賛否一覧他(定例会・臨時会) .....	⑭
○特集!なぜ今、サーモン養殖!? .....	⑯
○特集!町営住宅使用料「滞納」に対する取り組み .....	⑰
○常任委員会の活動(所管課報告) .....	⑱
○熊石地域審議会の皆さん(耳をすまして) .....	⑳



# 町民の幸せに つながったか？

## R3年度 決算審査

### 【総務費】

**Q** 自動車運転免許証自主返納支援事業の活用人数が3分の1だが、今後の努力目標は？（牧野）

**A** ハイヤー利用券は100名分の予算を確保したが48名の交付であった。町広報やライン、警察署へ免許返納を行う際にこの事業の紹介をしている。（総務課長）

**Q** 自主返納支援事業と公共交通はセットで考えるべき。スクールバスの活用はどのように検討しているのか。（三澤）

**A** 混乗しているコースもあるが、毎年の生徒数によりコースが変更になるため、全ての混乗は難しく、課題もある。（政策推進課長）



よこた きよし 委員長  
横田喜世志

**Q** 近隣町で既に予約バス等を行っている所がある。八雲町でも進められないのか。（佐藤）

**A** 実証実験にも経費がかかるうえ、公費で行うため、利用する人とならない人の公平性も考えながら対応する。（政策推進課長）



**Q** 地域公共交通について、八雲町は面積が広大でハードルが高い。コンサル等を利用してグラントデザインを作ってほしい。（関口）

**A** 在来線との関係もあるためコンサルに依頼し、じっくりと作り上げていきたい。（町長）

**Q** 新幹線トンネル工事発生土の処分地である鉛川の土地について、地下水検査のデータは機構から提供されているか。町でも水質検査

をしてはどうか。（佐藤）

**A** 発生土は今年度から搬入しているため、水質検査のデータ提供はこれからだと考えている。機構の調査は適正であるとの考えから、町で検査する必要はない。（新幹線推進室長）

**Q** 特定政策調査業務の内容と成果は。（赤井）

**A** 新しく事業を行うための調査研究費。コロナで出張ができなかったため決算額が少ない。ウイスキー事業が中止となったことで大きく不用額が出ている。（政策推進課長）

**Q** LINE配信システムの登録者数の推移は。（大久保）

**A** 昨年10月から開始し、今現在3348名が登録。前月比では、ほぼ10%の伸びとなっている。（情報政策係長）

**Q** LINE配信システムで防災情報発信や地域別に発信することは可能か。（大久保）

**A** 災害情報の発信はすでに行っている。（総務課長）

**A** 地域別の発信は可能である。



(情報政策係長)

Q 町の活動のPRについて、宣伝広告費的な予算付けをして、ホームページや広報誌等を活用し、積極的に行うべきでは。(三澤)

A 同じことを考えている。ホームページやラインを活用し、PRに努めたい。(町長)

Q 災害備蓄品において、ウェットティッシュ1200個とある。保存期間と目的は。(倉地)

A 約2年間の保存期間があり、避難所で顔や身体を拭くのに使用する。(防災係主任)



## 【民生費】

Q アイヌ住宅貸付金の現在残高とは滞納額のことか。回収するためには法的措置をとるのか。(大久保)



まきの ひとし 副委員長  
牧野 仁

A 滞納整理については、支払督促など、裁判所に申し立てしている事案もある。令和3年度についても裁判費用を予算化した方が、分割納付を続けているため、支出がなかった。(住民生活課長)

## 【衛生費】

Q 高齢者インフルエンザワクチンの接種率が50%だが、残りの分を子ども用に回すことはできないのか。(赤井)

A 国から来るワクチン量が決まっているため、子ども用に回すことは難しい。(保健福祉課長)

Q ドクターヘリの使用が、35回あった。その症例と経過は。(倉地)

A 救急搬送が12回、施設間搬送

が20回、天候不順などによりキャンセルが3回であった。患者の状況については町で把握していない。(保健福祉課長)

## 【商工費】

Q 緊急経済対策であわびの販売を実施したが、あわびの観光資源としての可能性について、今後の見通しは。(関口)

A あわびの里フェスティバルが中止となったため売上が低迷している。熊石産のあわびが常時出せるような状況にしていきたい。(町長)



Q 設備投資促進条例に基づく奨励事業の利用は2件だけだ。もっ

と利用されてもいいのではないかと。(三澤)

A この事業は固定資産税の5分の1を4年間支給するというもの。奨励金の内容をもっと周知していきたい。(商工観光課長)

Q 投資規模が少ない町内の中小企業でも、この事業を利用しやすい仕組みにできないか。(三澤)

A 中小企業育成資金の保証料の補給金という、1企業あたり1500万円以内の融資制度もある。(商工観光課長)

A 地元の企業を押し上げる施策も考えたい。制度は見直した方がいいかと思っている。(町長)

Q 商店街のロードヒーティングの燃料代が昨年と比べて上がっているが、これは値上げによるものなのか、使用量によるものなのか。(黒島)

A 降雪量や稼働日の関係もあるが、主な原因は燃料の価格高騰である。(商工観光課長)

Q 空き店舗前の除雪について商店街組合とは協議したのか。(黒島)

Q 話し合いをしたところであるが、全額を商店街組合で持つのは大変だと思っている。いずれは北海道に除雪をお願いするつもりである。(町長)

## 【農林水産費】

Q 新規就農資金の貸し付けは令和3年度1件となっているが、円安や燃料費の高騰などで継続が非常に難しい状況。貸付額はこの金額で間に合うのか。(赤井)

A 町からの貸付金の他に日本政策金融公庫からの貸し付けもあるが、燃料その他の高騰で継続を断念せざるを得ない方もいるのが現状。(農林課長)

Q 就農を断念して八雲を離れるようなことがないよう、手厚い支援をしてほしい。(赤井)

A 新規就農しても苦しい人は出てきている。青年舎で研修し、就農できるよう支援していきたい。

(町長)

Q 遊楽部川の河川敷は草が生い茂っている。遊歩道の整備を。

(関口)

Q 熊対策として草刈りを充実させる手立てを考えるべき。熊は駆除だけでなく、寄せつけない方法を研究してはどうか。(三澤)

A 河川敷の整備は、北海道に強く要望する。ドローンで追い払うという方法もあるので、熊対策を充実させていきたい。(町長)

Q コンブ礁は北海道が事業主体だが、成果は？(齊藤)

Q 天然コンブとの比較調査はどのようになっていくか。(黒島)

A コンブ礁設置は令和3年度からのため、まだ目に見えた成果はないが、漁獲状況を見ると増えてきている。

天然物と人工藻場の繁茂状況については、海中ドローンで調査をしているところだが、具体的な報告は受けていない。(水産課長)

Q 植樹の際、針葉樹と広葉樹を交互に植えることで、風倒木を防ぎ、実のなる木を植えることで、熊が里に下りることを防げるのではないか。(佐藤)

A 土砂崩れを防ぐ効果もあり、熊の食糧確保にも繋がるため、考慮したい。(町長)

## 【土木費・災害復旧費】

Q 新しく建てた町営住宅の屋根が一棟だけ、大雪で波打っていた。なぜそのようなことになるのか。(赤井)

Q 屋根の補強は必要なのか。

Q 屋根が高齢化しているため、対応が困難では。(佐藤)

A 軒先を通常より長くしているが、構造上は問題がない。入居者による管理が適切ではなかったと考えているが、今後、しっかりとパトロールし、早めに対応する。(建設課長)

Q 先日の大雨で氾濫しそうになった遊楽部川の管理はどうなっているか。中洲に生えた柳の大木などに流木が引っかけり、川水も

増えたのではないか。(佐藤)

A 河畔林伐採の要求は以前からあり、平成20年に北海道が樹木の伐採を行おうとしたが、一部の方から反対があり、流木の片付け程度で終わった。

今回のように堤防の決壊の恐れが出てきたことから、北海道が今年度から測量し、数年かけて伐採する計画である。住民には町の広報誌で周知する。(建設課長)



遊楽部川の中洲

Q 公園の遊具が更新されず、危険な遊具が放置されている。子ども達がたくさん集まる公園には新たな遊具を設置すべきと思うが、その計画はあるのか。(大久保)

【A】全ての公園ではないが、必要な公園を調査し、しっかりと対応する。森林環境税も利用し、町内の木を使っていきたい。(町長)



## 【消防費】

【Q】消防団員の健康診断で21名とすることは40代以上が対象なのか。(赤井)

【A】50歳以上の団員を3年周期で行っている。(庶務課長)

【Q】団員は足りているのか。今後の対応は。(赤井)

【A】募集しても集まらず足りていないのが現状。今後も集まる方法を検討していく。(消防長)

【Q】他町では地域おこし協力隊が消防団員となって活躍している所もあるが、八雲町はどのように考えるか。(赤井)

【A】団員の報酬を高くし、少数精鋭で行うことや、公務員の兼業などについても検討していきたい。(町長)

【Q】消防団員が少ないのであれば、消火栓を増やすなど施設の充実を図るべきでは。(関口)

【A】消火栓よりはタンク車の増について検討している。(町長)

## 【教育費】

【Q】トイレの洋式化に伴う改修について、男女別だけではなく、LGBTQへの配慮も加えてほしい。(赤井)

【A】多様な意見を聴き、丁寧に進めていきたい。(教育長)

【Q】教員住宅が老朽化しているため、民間のアパートを借り上げるという方法は考えられないのか。(赤井)

【A】教員住宅は安く入居できるが、修繕しながら長く使用するよりは、民間アパートを活用する方法も考えられる。(教育長)



老朽化する教員住宅

【Q】令和3年度は、平和大使を広島に派遣できなかったが、平和学習もできなかったのか。(三澤)

【A】コロナ感染により令和3年度は中止した。資料を広島から取り寄せ、各学校に情報提供した。(社会教育課長)

【Q】被害の実態も大事だが、被害者に対する補償や、その後どうなったかなど、学習の視点を広げていく必要があるのでは。(三澤)

【A】議論を重ねながら考えていきたい。(教育長)

【Q】子ども達の給食センター見学や、感想を聞く機会はあるか。(佐藤)

【A】見学については、食育として取り組む予定である。(学校給食センター長)

【A】栄養教諭と一体となって、子どもたちの声を把握できるようにしたい。(教育長)

## 【歳入】

【Q】コロナ関係の臨時交付金は不用品が出て返さなくてよいとのことだが、感染症対策の基金として積めないか。(齊藤)

【A】交付金は経済対策や生活支援など様々な事業で活用している。条例を制定したうえで基金に積み立てることは可能であるが、積立をせず全て活用した。(財務課長)

【Q】税金や水道料金など、カード払い等のキャッシュレス決済についての検討はされているのか。検討しているのであれば積極的に進めてほしい。(大久保)

【A】八雲町ではキャッシュレス決済等の導入はまだない。導入している他自治体の状況を見ながら、導入に向けて検討している。(会計管理者)

地産地消×ニユーを給食に！(三澤)



## 【病院事業会計】

**Q** 令和3年度の総合病院の決算は黒字となったが、コロナ関連の補助金がなくなつた場合、一般会計からの基準外繰り入れは増えるのか。(赤井)

**A** 補助金がなくなると、一般会計からの繰り入れも増えると考えますが、今後、公的病院に対する国の考え方が変わりつつあると聞いているので、病院を守るために、公的病院を抱える近隣町と話し合いをし、国に要望していく。(町長)



八雲総合病院

## 【総括質疑】

**Q** 総合計画において、未来を担う人材の育成に遅れがあるのではないか。(赤井)

**A** 人材育成についてはまだ進んでいない。他町の取り組みを勉強しながら人材育成に努めていきたい。(町長)

**Q** 令和3年度は良い決算であったと認識している。財務課長はどう捉えているか。(齊藤)

**A** 歳入における固定資産税の増加、地方交付税の増額、さらにはふるさと応援寄附金の増により、基金残高も上積みとなつたことで健全な財政運営ができたものと捉えている。(財務課長)

**Q** コロナ対策で個人や事業者へ支援してきたが、自宅療養者への支援を町でできないか。(大久保)

**A** 町ではコロナ感染者を把握できないため、直接の支援はできていないが、何らかの方策を考えていきたい。(町長)

## 反対討論

令和3年度予算において病院事業会計には熊石国保病院建替事業として、実施設計委託業務6996万7千円が計上されたが、令和4年3月の定例会において、全額が減額補正となつた。町長は19床の診療所にこだわりの、45床の建替えを求める1556筆の署名を無視し、熊石地域の住民に対する説明や話し合いを十分に行わなかった。

新しく病院を建てることは決定したが、30床へとベッド数を縮小することは人口減少に拍車をかけ、住環境の満足度にも悪影響を及ぼすものと考ええる。

今一度、病床削減に対し再考を求め、令和3年度八雲町病院事業会計決算認定に反対する。

(佐藤智子議員)



## 賛成討論

熊石国保病院建替事業について、熊石地域の住民が安心して暮らしていくために、八雲総合病院との連携を強化するということは、財政面・人材の確保など、あらゆる面において熊石国保病院を存続させていくための重要な要素であり、将来の患者数の減少を考えた場合、病床数30床への変更は、現状においては妥当な判断であると考ええる。

施設の老朽化、医療従事者の負担軽減を考えたとき、熊石国保病院を維持するうえで最も適切かつ効率的な変更であると考え、賛成意見とする。

(関口正博議員)



## 第3回定例会

# 令和4年度一般会計補正予算

# 4億9,309万8千円追加

## (補正後の総額 153億4,913万5千円)

第3回定例会は9月7日から9月14日までの会期で開かれました。補正予算、条例改正など、議案7件、報告3件、同意1件、認定9件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

## 補正の主な内容

### 生活応援商品券発行事業



2億4,430万9千円

原油価格の上昇や、物価の高騰による家計の負担軽減を図るため、消費の需要が高まる年末年始を前に、一人当たり15,000円の商品券を発行

両方で合計2万円分の商品券です！

### マイナンバーカード取得奨励事業

8,427万円

マイナンバーカードの普及促進を図るため、取得済みの方も含め、5,000円分の商品券を発行  
・15,500人分を想定

### 熊石国保病院基本設計業務委託料



2,650万円

計画を変更し、病床数30床、建物延べ床面積3,300㎡程度、建設地を熊石平町の町有地とし、改めて基本設計を行う

### 新型コロナウイルスワクチン接種事業



10月から開始を予定している、オミクロン株に対応したワクチン接種に係る事業費

6,610万2千円

### 公共土木施設災害復旧調査設計業務委託料

850万円

### 農林水産施設災害復旧調査設計業務委託料

144万1千円

令和4年8月15～16日の豪雨による被害により被災した公共土木施設・農林水産施設の被害状況の調査委託料

### 八雲高等学校創立100周年 記念事業補助金



令和5年に八雲高等学校創立100周年の節目を迎えるにあたり、同年10月に行われる記念式典や、各種記念事業の準備経費を協賛会へ補助

有意義に活用してほしいですね。(赤井)

500万円

#### ○被災額(概算)

- ・ペンケルベシベ川護岸決壊 4,180万円
- ・熊石サーモン種苗生産施設排水口護岸一部流失 800万円

# 一般質問

# 町政を問う!

※質問した議員本人が原稿を書いています。

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

**Q** 旧国立病院跡地の管理について

**A** 適切な管理に努めていく

よこたきよし 議員  
横田喜世志



**問** 旧国立病院跡地の管理について、現状は雑草などが伸び放題となっている。今後、どう管理していくのか伺う。

**町長** 旧国立病院跡地については、4月から町の所有となっている。今後、新庁舎が建設されるまでの間は、周辺住民の生活や通行に支障が生じないよう、適切な管理に努めていく。

**Q** バイオマス活用施設の運用について

**A** 主に町内から排出されるものを受け入れている

**問** バイオマス活用施設の町内及び町外利用者の実績について伺う。

**町長** 受け入れているバイオマスは主に町内から排出されるものであるが、八雲地区水産加工協同組合に加入している町外の業者からも受け入れている。

令和4年度は豊浦町から要請があり、一時的なものとして受入れを許可した。

**Q** 大雨に対する浸水対策は？

**A** 補助用ポンプを検討する

**問** 8月の大雨による体育館側の浸水については、過去にも同じような状況があったが、どのような対策をしてきたのか伺う。

**町長** 平成12年に排水ポンプを設置したが、樋門の開閉障害など

の影響で、何度も滞水が発生している。現在は、早期に樋門の開閉作業を行うなどの対策をしている。

今後、雨水対策として、現在設置されているポンプを補助するためのポンプを検討していく。



**Q** 建設工事施工監理費用の必要性について

**A** 工事の内容、規模等により業務を委託している

**問** 町発注の建設工事に施工監理費用は必要なのか伺う。

**町長** 新築工事や大規模な改修工事等においては、様々な専門業種が関わる監理業務が必要となるため、委託により工事監理者を定めているが、今後においても、担当職員で監理できるものと、委託するものを精査し、適切な建設に努めていく。



**Q** 物価高に対する生活支援について

**A** 生活応援商品券発行事業を実施する

くらち 倉地 きよこ 議員



料とする予定である。

国の原油価格・物価高騰に関する経済支援は、十分な支援となっておらず、一般家庭への直接的な支援策が必要であり、住民の手続き不要な水道料金減額は大変有効と考える。

**問** 政府は物価高の対応策として「物価・賃金・生活総合対策本部」を設置している。

物価高対応に使う地方創生臨時

交付金は低所得者への給付金上乘せや給食費の負担軽減、農林漁業者などの支援に使われる。また、地方の実情に応じて効果的に活用できるよう、見直しを検討している。

地方自治体の取り組みの一例として、札幌市は約102万件の全ての家庭を対象に水道基本料金を10月・11月の2ヶ月分に限り、無

八雲町としても物価高対応策として、水道基本料金の6ヶ月間無料を実施してはどうか。また、他に対応策は考えているか。

**町長** 八雲町においても、水道基本料金の減額について検討をしてきたが、複数契約のある使用者との不公平感が生まれることや、水道基本料金の減額と比較し、給付型の支援としたほうが地域内の波及効果が見込まれ、より効果的であると考え、生活応援商品券発

行事業（一人1万5千円分）、またマイナンバーカードの普及促進を図るため、取得者に5千円分の商品券を交付する事業を実施する。

**問** 八雲町は給食費や子供への医療費無料などの支援策を行っているところであるが、食料品の値上がりで累計2万品目を超え、今後、更に多くの品目の値上げが予想される中、生活応援商品券1万5千円とマイナンバーカードの5千円では、この物価高に対応できないと考える。

今後も続く見通しの物価高は、低所得者以外の層にも影響があり、家計に大きな打撃となる。町長は次の施策を何か考えているのか。

**町長** この物価高が落ち着くまでは大変だと思っている。

今後、町民の生活を注意深く見ながら、経済対策を進めていきたい。



**議会これからの予定**

《11月》	10日	総務経済常任委員会
	17日	文教厚生常任委員会
《12月》	5日	議会運営委員会
	8日～14日	第4回定例会 全員協議会 総務経済常任委員会 文教厚生常任委員会 広報広聴常任委員会 議会運営委員会

**議会を傍聴してみませんか**

次の議会は、  
**令和4年第4回定例会**  
**12月8日（木）午前10時から**  
開会の予定です。  
お気軽に足を運んでみてください。  
YouTubeで映像配信もします

**Q** 地方公務員に副業を！

**A** 早急に検討する

あかい 赤井 議員  
むつみ 睦美



**問** 今まで農業は公務員が副業先ができない「営利企業」に含まれると解釈されてきたが、基幹産

業を守ることに、公務員に求められる「地域貢献」や「公共性」に当たるとして見直され、人手不足を補うために収穫期・繁忙期に限定して副業を認めている自治体も増えている。

またその逆に、民間や国家公務員、地方公務員の兼業を前提としたキャリア採用を取り入れ、月に数回テレワーク等で働いてもらっている自治体もある。人口減少が進む中、どこも人手不足が生じているので、いろいろな方法を工夫し、八雲町の元気を維持すべきと思うが、町長の考えを伺う。

**町長** 農業や漁業などの一次産業を副業先として認める自治体が増えているが、八雲町では、担い手不足に対する社会貢献という観点よりは、副業して発見できたことを業務に活かすため、また、自身のキャリア形成に繋げるためなど、人材育成の観点から取り組むことが望ましいと考えている。ただし、本業に支障をきたさないためにも「どこまで副業を認める

八雲町が取り組む場合、人手不足を補うことを目的とするのではなく、「地域に飛び出し、地域課題に直接触れ、業務に活かす」という狙いであってほしい。

か」などの運営基準について検討する必要がある。

また、「戦略推進マネージャー」のような外部人材の採用は、今後、研究していきたい。



**Q** 子ども達の身体が危ない！

**A** 校長会と共に対応する

**問** 各小中学校で、置き勉が実

施されているにも関わらず、通学カバンは重く、1年生で6kgもある子がいた。子ども達が背負う重さは、体重の15%を超えない方がよいというアメリカの調査結果か

らすると約2倍の重さ。子ども達からは腰痛や肩こりなどの訴えもある。クロームブックの活用や生徒たちの意見を活かし、体に負担のない方法を検討してほしい。

**教育長** 小学1・2年生は、国

語、算数以外の教科書はほぼ学校に置く。他の学年でも重量のある学習道具や、家庭学習に使用しない教科書や資料、ワーク等、学校に置くもののリストを年度初めに学校、学級だより等で保護者に示している。しかし、学校の中には伝えていても、子どもの実態、個人差がどれくらいあるのかなど校長会と意見交換しながら、学校任せにせず、教育委員会としても検討する。



中学生はさらに重い！



Q 情報公開のあり方は

A 町民と共有することが重要

ともこ 議員 佐藤 智子



問 新幹線トンネル工事発生土

の成分などを求める「情報公開請求」を、町民が町に対し請求した際、42枚中35枚が真つ黒な資料であったことに驚いた。

「八雲町情報公開条例」と「八雲

町自治基本条例」に照らして、本来、情報公開はどうあるべきだと考えているか。

町長

町に蓄積された情報は町民の共有財産であり、町が持つ様々な情報を町民と共有することが重要であると考えている。

問 その考え方からすると、今回のトンネル工事に関する情報公開のあり方は間違っているのではないか。

総務課長

経過としては、鉄道・運輸機構に対して意見照会をしたうえで一部公開と決定した。その後、請求者から不服申し立てがあったため、情報公開審査会を開催し、個人情報以外は全部公開すべきという答申どおり、公開決定をした。

問 鉄道・運輸機構は「協議や

打合せの内容及び使用した資料は意思形成過程情報として非公開とするのが一貫した方針。」と述べているが、審査会は「すでに決定した事項については、意思形成過程情報には当たらない。」とし、公開すべきと答申した。

町が黒塗りの書類を出したのは、鉄道・運輸機構に対し、忖度したからではないのか。

新幹線推進室長

忖度したつもりはない。情報公開をすることで鉄道・運輸機構の事業遂行に支障が出た場合、町として責任が取れるのかといった考えから、町が主体的に判断をした。

審査会の答申では「町及び鉄道・運輸機構の主張は単なる懸念に過ぎない」と記されている。

Q なぜ随意契約にしたのか

A 委託要件を満たす

業者であったため

問 木彫り熊のデザインについて、随意契約は公平性に欠けるのではないか。契約は募集・入札を

基本に行うべきではないのか。

教育長

地方公共団体が締結する契約は、競争入札が原則だが、今回の木彫り熊デザイングッズ企画開発事業は、プロモーションを

通じた全国への八雲町の魅力発信、テスト販売、有効活用 of コンサル

タント業務委託であり、要件を満たす業者は他に見当たらないとの判断から随意契約とした。

Q 教員住宅の点検は、

怠りなく！

A 点検・修繕は

学校教育課が直営で

問 教員住宅の退去後と入居前の点検・整備はきちんと行われているか。

教育長

事前にトラブルがないよう、また、修繕が行き届くように今後も引き続き努力したい。

Q 国道沿いの整備を

A 国に要請する

問 国道5号線沿いの雑草や樹木を整備し、噴火湾を望む八雲町の景観をアピールしては。

町長

景観などの観点から、草刈り等の整備を、函館開発建設部八雲道路事務所へ要請する。

**Q** 武力攻撃があった場合の「備え」はあるのか？

**A** 認識を新たに「ある」と想定して対応を検討

みさわ 三澤 議員  
きみお 公雄 議員



**問** ウクライナの被災状況を見るにつけ、「武力攻撃」は最大の被災になるのではないかと考えてしま

まう。もし、被災への備えが充実したのなら、自ずと自然災害に対する備えも充実していくのではないかと考え、質問する。

「八雲町国民保護計画」では国・道からの指示があつてから対応するととなっているが、それで十分なのか？

**町長** これまで計画はあつたが、大規模な事態においては、国の総合的な方針に基づき対応するため、

**問** 国の「敵基地攻撃」等、武力攻撃の議論を見ていても、自国民が被災するということは全く想定していないと感じる。自衛隊の基地がある町が攻撃目標とされ、被災した場合にどうするかという視点で対応策を備えることが大切だと思つたので、もう一点伺う。

これまで国は、空襲などでの民間人被災者には一切補償をしていない。とても残念なことだ。「武力攻撃」で被災する可能性がある」と想定するならば、被災した町民への補償ができるような仕組みを

考えるべきではないだろうか。に対する補償は大切なことだが、今は全体構想を練って、国・道にも考えてもらうことしか展望はできない。

**町長** 「武力攻撃」による被災者に対する補償は大切なことだが、今は全体構想を練って、国・道にも考えてもらうことしか展望はできない。

それよりも自然災害による避難・被災者支援が今以上のかたちでできるように町が要望しながらやっていくことが優先されると考える。

今まで「武力攻撃」がないと考えていたが、これからは「あるかもしれない」と想定していく必要があると、認識を新たにした。

子ども達に平和学習の範囲で教えられると思つた。(三澤)



**民間人被災者への戦後補償（第二次世界大戦時の同盟国との比較）**

- ドイツ** ベルリン空襲では約120万人が犠牲となり、財産を失った引揚者は1,200万人以上とされる。1950年に「戦争犠牲者の援護に関する法律」が制定され、市民にも被災に対する補償をしている。障害年金やリハビリを含む医療保障、遺族年金なども対象とし、失われた財産も補償される。
- イタリア** 犠牲となった民間人は約15万人。戦後の財政不安の中での補償は容易ではなかったが、1978年に民間人被災者にも軍人と同等の年金を支給する関連法が制定された。補償額が少ないが、国家が個人の被害を認めることを重視した。



# ～皆さんの声を聞かせてください～ 議会報告会 開催しました

7月20日、はびあ八雲、くまいし館、落部町民センターで議会報告会を行いました。

- 意見交換（全会場共通）：地域公共交通網形成事業について
- 議会報告（八雲会場）：サーモン養殖事業、八雲総合病院の経営について  
（熊石会場）：サーモン養殖事業、熊石国保病院建替事業について

## 参加者の主な意見

### <八雲会場>

- ・サーモン養殖事業は多くのリスクがあると思う。事業の全体像が見えない。すでに走り出しているのに、うまくいくよう考えて事業を進めてほしい。
- ・コロナ関連の補助金がなくなれば、病院経営も厳しくなるのでは。何らかの対応が必要では？
- ・バス停が大きな場所しかないので、春日や大新などの地区はバス停までどうやって行けばいいのか。
- ・JRの在来線は今後どうなるのか。存続を望む。



### <落部会場>

- ・防災行政無線が聞こえにくいので改善してほしい。
- ・交通網の形成は、病院に通院しやすいようにしてほしい。現状では送迎のある病院のほうが利用しやすい。



### <熊石会場>

- ・国保病院の建替事業については、賛成というわけではないが、よかったと思えるような配慮をしてほしい。
- ・昨年の署名活動から今年の6月まで、定例会が2回あったが、国保病院についての報告がなかった。議会のチェック機能にも期待している。
- ・マスやイカなどが獲れない。サーモン事業に期待する。

## 一般会議を開催しました（7月27日）

### “二海和牛”創生プロジェクト

八雲町のブランド和牛肉を確立するため、全国和牛能力共進会の入選を目指しながら日々取り組んでいる。町や青年舎に協力を受けながら進めて行ければと考えている。



### 八雲の未来を創造する会

新幹線トンネル工事発生土について、八雲町の農業・水産業の保全のため、土壌が汚染されてはならない。処分方法について、生物を専門とする方の意見も取り入れてほしい。



## 定例会・臨時会議件一覧

令和4年第6回臨時会（令和4年8月9日）			
議案第1号	令和4年度八雲町一般会計補正予算（第4号）	報告第1号	専決処分の報告について（町営住宅使用料の支払に関する訴えの提起について）
議案第2号	令和4年度八雲町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	報告第2号	専決処分の報告について（町営住宅使用料等の支払に関する訴えの提起について）
令和4年第3回定例会（令和4年9月7日～14日）			
認定第1号	令和3年度八雲町一般会計歳入歳出決算認定について	議案第6号	令和4年度八雲町病院事業会計補正予算（第2号）
認定第2号	令和3年度八雲町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第7号	令和4年度八雲町一般会計補正予算（第6号）
認定第3号	令和3年度八雲町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償額の決定について）
認定第4号	令和3年度八雲町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	報告第2号	株式会社青年舎の経営状況の報告について
認定第5号	令和3年度八雲町熊石地域簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	報告第3号	株式会社木蓮の経営状況の報告について
認定第6号	令和3年度八雲町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	同意第1号	八雲町教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて
認定第7号	令和3年度八雲町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	発委第1号	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書
認定第8号	令和3年度八雲町病院事業会計決算認定について	発議第1号	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書
認定第9号	令和3年度八雲町水道事業会計決算認定について	発議第2号	道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書
議案第1号	八雲町一般職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	発議第3号	地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書
議案第2号	八雲町一般職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	発議第4号	安倍氏の国葬撤回と弔意を強制しないことを求める意見書
議案第3号	八雲町町営住宅条例の一部を改正する条例	決算特別委員会審査報告書	
議案第4号	令和4年度八雲町一般会計補正予算（第5号）	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出について	
議案第5号	令和4年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	議員派遣の件	
令和4年第7回臨時会（令和4年9月30日）			
議案第1号	工事請負契約の締結について	議案第3号	工事請負契約の締結について
議案第2号	工事請負契約の締結について		



**異議あり!**

## 第3回定例会 賛否一覽 (反対のあった議案を掲載)

賛成 ○ 反対 ×

議案名	採決結果	赤井 睦美	佐藤 智子	横田 喜世志	大久保 建一	関口 正博	宮本 雅晴	倉地 清子	三澤 公雄	牧野 仁	安藤 辰行	能登谷 正人	斎藤 實	黒島 竹満	千葉 隆
議案第4号 令和4年度八雲町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	△
議案第6号 令和4年度八雲町病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	△
認定第8号 令和3年度八雲町病院事業会計決算認定について	認定	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	×	×	○	△
発議第4号 安倍氏の国葬撤回と弔意を強制しないことを求める意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	○	欠	×	×	○	×	△

※千葉隆議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

### 林活議員連盟の研修会に参加しました

10月6日、せたな町で行われた研修会に議員8名が参加し、「<sup>じばつがた</sup>自伐型林業」について学びました。

全国で54の自治体が支援をすることで、林業を始める若者や移住者が増え、環境保護にも貢献しているそうです。

「私たちの活動は、木を育てることではなく、山を守ることです。」という言葉にとっても共感しました。



## 議会のうごき

### 《8月》

- 19日 第6回臨時会  
航空自衛隊八雲分屯基地有効活用  
及び周辺整備事業推進特別委員会  
総務経済常任委員会
- 18日 文教厚生常任委員会

### 《9月》

- 2日 議会運営委員会
- 7日～14日 第3回定例会  
決算特別委員会  
総務経済常任委員会  
広報広聴常任委員会  
議会運営委員会
- 20日 総務経済常任委員会
- 27日 議会運営委員会
- 30日 第7回臨時会  
全員協議会  
総務・文厚合同常任委員会

### 《10月》

- 11日 広報広聴常任委員会
- 13日 総務経済常任委員会
- 20日 文教厚生常任委員会
- 24日 第8回臨時会  
全員協議会



# 特集 「なぜ今、サーモン養殖!？」

なぜ今、熊石地域でサーモン養殖に取り組むのかを、歴史を振り返りながら、一緒に考えてみましょう!

「熊石」はアイヌ語の「クマウシ=魚を乾かす竿のあるところ」という意味で、道南の中でも漁獲量が多く「ニシンの万石場所」と言われていました。1845年4月、漁の最盛期に熊石を訪れた探検家「松浦武四郎」が、西蝦夷日誌に「真の宇宙の壮観なり」と記載し、沖と岸を行き交う船の人たちの囃子声が村中に響く活況を見て驚いての表現と考えられています。

このように熊石は古くから漁業の町として栄えてきました。



出典：海洋総合辞典



明治後半には、ニシンも獲れなくなり、冬にはスケソウダラ、春にはホッケやマス漁をやっていましたが、スケソウダラも獲れなくなり、出稼ぎに行くこともありました。

1985年頃から春のマスが獲れなくなり、再びスケソウダラが戻ってきたため、冬から春にかけてスケソウダラ、夏・秋にはスルメイカというサイクルになりました。

熊石の漁業は回遊魚が主で、その年や周期によって獲れたり獲れなかったりと不安定な状態にあるため、漁協青年部が中心となり、アワビの養殖を始めました。最初は2～3万個だったのが、ピーク時には13万個にもなりました。



しかし、主力魚種であるイカやスケソウダラ、秋サケの不振が続き、漁獲量が大幅に減少。漁業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

2019年、漁業経営の安定と地域の活性化を図ることを目的に、漁協と連携した新たな取り組みとして、トラウトサーモンを養殖し、事業化を目指すための実験が始まりました。

日本の寿司店で人気のサーモンは約90%が輸入。国産を増やしたいという思いと、今後の日本海の漁業の安定化を図りたいという思いが一致。青森県から稚魚を購入し、試験が始まりました。今後は卵を購入し、ふ化させるところから行きます。ようやく事業の全体像が示されましたが、漁家にとって希望の光となるのでしょうか。

参考文献：「もっともっとおもしろ読本」若人の集い

特集！

# 八雲町の町営住宅使用料 「滞納」に対する取り組み

総務経済常任委員会において、地域振興課から「町営住宅家賃滞納整理事務」について報告を受けました。八雲町では町営住宅の家賃滞納に対し、再三の催告等に応じない事案について、建物明渡等請求訴訟や支払督促申立てなどの法的措置を取ることで、納付や自主退去等に結び付けています。

## ◆町営住宅入居者への対応

### 建物明渡等請求訴訟の流れ

督促状



催告書



来庁要請書



法的措置候補者選定通知書



最終催告書兼住宅明渡し予告書



町営住宅明渡し請求書



町営住宅入居許可取消し通知書（最終通告）



法的措置へ（建物明渡等請求訴訟→強制執行）

平成17年、合併により新たな八雲町が誕生しました。そして新しくなった「八雲町議会」から、「滞納を解消していこう」、「納税者に不公平感を抱かれないようにしよう」という声が発せられました。

その後、収納対策室（現 収納推進係）が設置され、現在の滞納に対する取り組みに至っています。

家賃の支払いが難しい場合は役場に相談することで、分割納付等に応じることができます。

困った時は、まずは相談を！

家財等の動産を一時保管し、後日、本人立会のもと、引き取りまたは処分し完了。

## ◆町営住宅退去者への対応 支払督促申立ての流れ（一例）

八雲町

支払督促申立書提出



裁判所

申立書の  
受理・審査



裁判所

支払督促  
発行

相手方

支払督促を受領



相手方

異議申立て



支払に関する  
訴訟手続

異議申し立てをしない場合は強制執行（差押命令）申立てに移行します。

※支払督促とは退去済みの債務者に対して滞納の支払を求める手続きです。



# 常任委員会 の活動

令和4年8月から10月の  
各常任委員会の活動です。

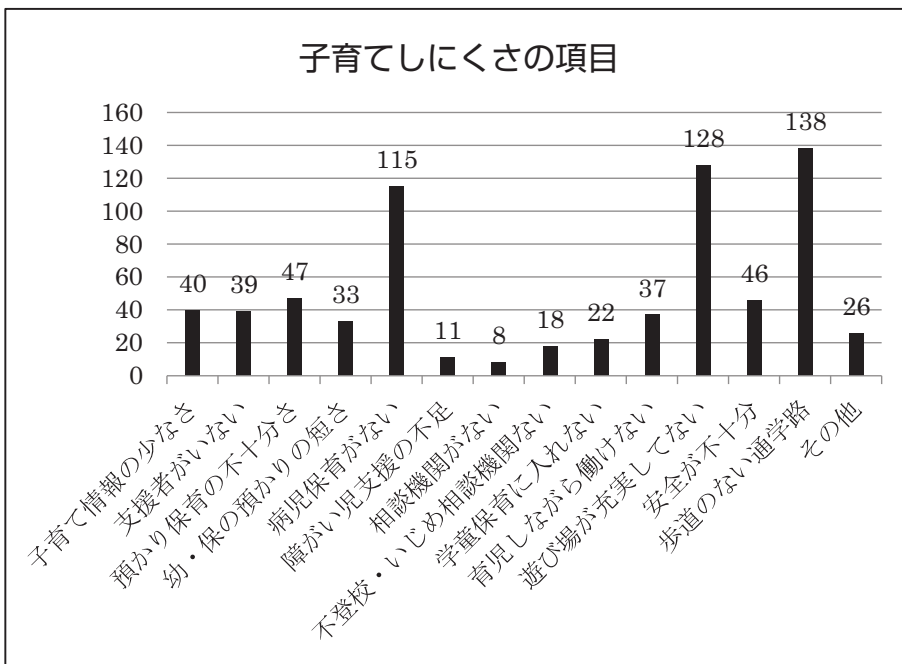
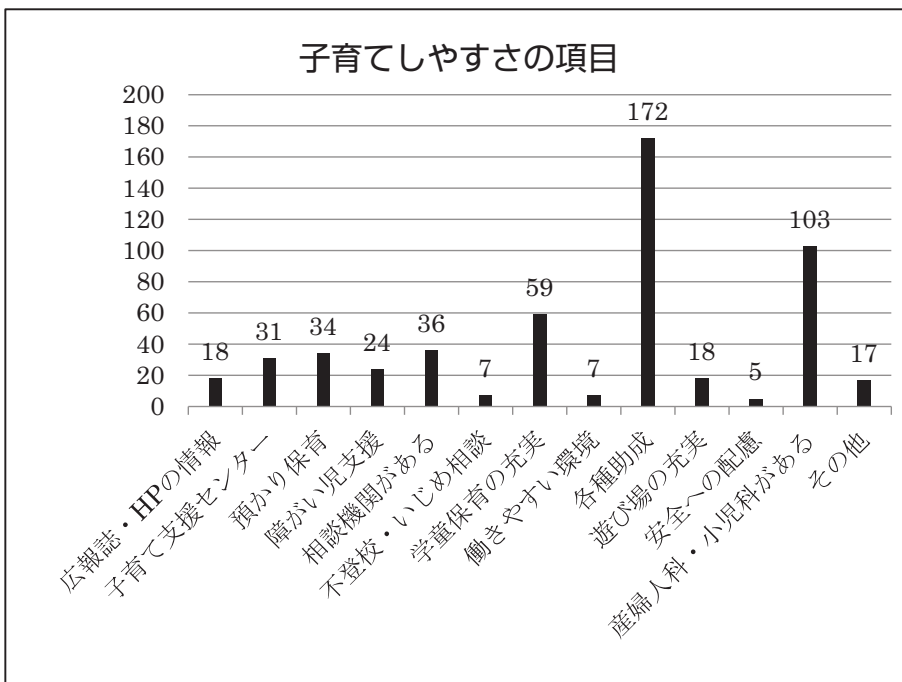
## 文教厚生

### 【子育てに関するアンケート】

文教厚生常任委員会では、子育てに関するアンケートを実施しました。質問への回答のほか、自由記述には多数のご意見をいただきました。

注目したのは、「子どもを育てることに働くことを両立するために必要なことは？」という質問に対し、「子育てしている者に配慮

子育てアンケート結果（一部抜粋）



した勤務時間制度があり、それが実際に活用できる職場環境」という項目に、回答数269人のうち158人の方が賛同していることです。

この結果から、行政の支援はもちろん大事ですが、職場環境が整うことも大切だと痛感しました。

【木彫り熊デザイングッズについて】

株式会社ビームス（東京都）にデザイン・商品開発・販売等を委託し、10月に東京でデザイングッズが販売され、大人気だったそうです。八雲町のPRに一役買ったでしょうか。



木彫り熊デザイングッズ

# 総務経済

所管各課から報告を受けた中で、主なものをお知らせします。

## ●(株)青年舎の令和3年度経営状況及び令和4年度事業計画について (農林課)

### 令和3年度経営状況

(株)青年舎は、飼料生産の外部委託による分業化を進め、搾乳に特化した労働負担の軽減・飼養頭数の増頭、また、担い手の育成を推進する酪農経営を展開してきた。生乳生産量は計画対比121%増で推移し、乳質・繁殖ともに良好な成績を収め、3340万7千円の当期純利益となった。

### 令和4年度事業計画

バイオガスプラントを自己資金で整備し、FITによる安定した売電収益の確保と消化液を肥料資源として有効に活用し、家畜排せつ物の管理の適正化を図る。

畜産の新たな担い手の発掘や後継者・新規就農者育成のために就

農支援と生産技術・経営管理・理論学習等の実践的な研修の実施。

関係機関が新規就農者を総合的にバックアップする支援体制を確立する。

## ●8月15～16日にかけての大雨による被害について(建設課・農林課・サーモン推進室)

### 建設課

ペンケル川沿線などの路盤洗堀、路肩決壊、崩土除去、音名川ほか護岸決壊、埋塞土除去、ペンケルベシベ川の連節ブロック等の被災による被害総額は約4380万円。その他、建岩橋については橋脚の洗堀により撤去の方針。

### 農林課

河川氾濫等による農地の冠水・土砂流入、保安林管理道ポイントワルベツ線の路肩決壊等の被害総額は約299万円。

### サーモン推進室

熊石サーモン種苗生産施設への取水口の土砂揚げ、排水口の保護護岸の損壊、サーモン幼魚のへい死等の被害総額は約800万円。

## ●町内循環型商品券発行事業の結果について(商工観光労政課)

町内循環型商品券(わくわく応援券)について、大型店の使用割合は60%であったが、前回のひまわり応援券(72%)と比較すると低くなった。また、飲食券・共通券の区分けを設定していないため、使用率99・35%は前回(98%)より高くなった。

## ●公共交通実証実験について(政策推進課)

### 実証実験期間

令和5年2月1日～2月28日

### 運行主体

エスジーハイヤー(株)

### 運行形態

事前予約制とし、日替わりで1日1路線を順番に往復運行。

ハイヤー業への影響を考慮し、ドア・トゥ・ドアとはせずに、運行路線上で乗降可能とする。(ただし市街地内のみ利用は不可)

### 運賃

中学生以上一律500円(片道)  
小学生一律250円(片道)  
小学生未満(無料)

## 運行ダイヤ

路線	行き(八雲駅・総合病院行)		帰り(八雲駅・総合病院発)	
	始点	終点	始点	終点
①黒岩方面	(黒岩) 9:37	(総合病院) 10:00	(総合病院) 14:00	(黒岩) 14:23
②山崎・立岩方面	(山崎) 8:11	(総合病院) 8:45	(総合病院) 14:00	(山崎) 14:34
③立岩・春日・大新方面	(立岩) 7:58	(八雲駅) 8:45	(八雲駅) 14:00	(立岩) 14:48
④東野・わらび野・桜野・野田生方面	(東野) 7:58	(八雲駅) 8:45	(八雲駅) 14:00	(東野) 14:48
⑤栄浜・落部方面	(栄浜) 8:05	(八雲駅) 8:51	(八雲駅) 14:00	(栄浜) 14:46

国道5号線を極力使わずに、広域農道などの町道を活用します。

# 耳をすまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。

今回は

## 熊石地域審議会委員の皆さまです！

### Q 審議会の会議の様子を教えてください

・今年から議会形式をとり、2つの常任委員会と年4回の定例会を行い、一般質問も順番に行っている。  
・堅苦しく話しにくいと感じる反面、行政の動きや仕組みを間近で見ることができ、議会にも興味を持つようになった。議会中継もYouTubeで見ている。

### Q 初めての一般質問はどうでしたか？

・議会形式に慣れるために、質問の作り方などを学んでいる。役場の担当者からアドバイスをもらいながら質問を作るが、再質問は緊張してできなかった。知識や下調べが必要と感じた。

・年4回の開催のため、1回休むことにより期間が空いてしまい、内容がわからなくなってしまう。

・強く要望をしても、通らないこともある。その代表が熊石国保病院の建替え。みんなで署名して45床を訴えたが、30床という結果となった。今、病院はすごく混んでいて、その様子を見たら、この先町民はどうなるのか不安になっている。

### Q サーモン養殖についてどのように思いますか？

・餌やりの仕事は2人いればできる。しかも期間限定なので、その時期に仕事のない人しか携わることができない。

・何とか漁師が潤えば良いと思う。加工については水産会社に任せの方が良い。

### Q 熊石と言えばアワビだと思うが、その点は？

・現在、アワビ養殖は2人で行っている。週1回海に潜って餌をやっている。より大きく育てようとすると、餌代などコスト面で採算が合わない。

・吹雪の日でも、海に潜って餌をやるのは命がけで、若い人しかできない。浮沈式を導入するなど、年配者でもできる方法もあるが、経費がかかるため無理。

### Q 農業における課題は？

・実際に農業をしている人は減ってきており、畑を貸している人が増えている。



### Q これからの活動について

・コロナによって、町のイベントが全てできなくなってしまった。熊石のイベントはまだ動きがないので、できるところから始めていきたい。イベントは地域の活気に繋がる。

・審議会の中でも、プロジェクトや委員会ができ、IターンやUターンについても考え、動き始めている。

・審議会に入って、今後、今まで以上に行政と色々な取り組みができるかもしれないと思っている。

### ～取材を終えて～

皆さんの話を聞きながら、これからの熊石が楽しみになりました。お互いの地域をしっかりと見つめながら、できることを始める。そのためにも情報共有が大切だと痛感しました。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。製作後は八雲町議会事務局（☎0137-62-2388）へご報告ください。

## 編集後記

八雲町の木彫り熊について知っているだろうか？徳川さんが、農家さん達の冬の場の収入源にと外国から持ち帰ったことで、北海道木彫り熊発祥の地となったことを。

現在、木彫り熊の歴史を大切にしている個々の力により、木彫り熊を紹介する施設や木彫り熊に囲まれてくつろげる喫茶店など、木彫り熊を巡ってもらえるような取り組みについて情報発信している。

木彫り熊人気が高まり、町外や道外のコアなファンが木彫り熊制作体験や資料館を訪れることが増えてきており、中には木彫り熊目的のみで八雲町に来てくださる方もいる。

八雲町民が木彫り熊を知ることにより、尋ねられたら喜んで案内できることで再びこの地を訪れたいと思ってもらえるだろう。

木彫り熊について町民全体で取り組むことが、八雲町の活性化に繋がる。私自身も「木彫り熊発祥の地」八雲の魅力を伝えられるよう、積極的に関わっていききたい。

議会広報広聴常任委員会  
委員 倉地清子